

2020年度 ガイドライン評価改善シート

施設名 (熱海市児童発達センター)

作成日時 (R2.10.22)

代表	施設長	本部
風間	岩崎	田中

2019年度 改善への取り組み	・衛生管理について、施設全体で周知し実行。 ・保護者との個々の連携 ・保護者同士の場を設ける。
今年度の施設目標	・衛生管理 ・安全対策の徹底 ・保護者との連携を深める

項目	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での共通点	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での相違点
環境・体制整備	・玄関の段差・トイレなどバリアフリーになっていない。 ・定員を満たしていないこともあり、活動スペースは十分に確保されている。	・利用者が今後増えていくことを想定し、訓練室のスペースの使い方、職員の確保をしていく必要がある。
業務改善	・前年度の評価や保護者の意見を踏まえ、目標を設定しその目標達成の為業務改善に努めている。	・PDCAサイクルについては、一部の職員のみが参画している。もう少し多くの職員の意見も取り入れるシステムを作る必要がある。
適切な支援の提供	・保護者のニーズに沿って考え、支援計画を立案しそれに沿った支援を行っている。また、子供の課題を客観的に分析している。 ・活動内容や、子供の課題などチームで行っている。	・毎日のプログラム内容が、個別化しきれていない。固定化してしまいがち。 ・日誌などでは、一日の様子の情報共有はしているが終礼ができていない。 ・児童発達支援ガイドラインをしっかり把握できていない。
関係機関や保護者との連携	・日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、保護者のニーズや子供の発達の状況や課題について共通理解ができてきている。	・こども園・幼稚園・保育園・地域との交流の場がない。
保護者への説明責任等	・支援の内容や、利用に関することっを丁寧に説明している。 ・月1回の園だよりや、よりみちで活動概要や行事予定連絡等を発信できている。 ・保護者からの相談や申し入れについて迅速に対応できている。	・保護者同士の交流の場がない。 ・プログ更新の数が少ない。 ・今年は、参観会などの行事を行えていない。
非常時等の対応	・非常災害時の発生に備えた訓練がされている。 ・個人情報の取り扱いが十分に注意されている。	・防犯マニュアルの周知がされていない。 ・小さなことの予測ヒヤリハットを作成し職員内での共有がされていない。



分析検討してみたの事業所の強み
<ul style="list-style-type: none"> 施設全体の活動スペースは充分確保されている。 保護者や子供の気持ちに寄り添い、保護者のニーズや意欲的に分析した子供の課題を取り込んだ支援計画を作成し、それに沿った支援が行われている。 関係機関と密に連携ができています。

分析検討してみたの事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の交流を図れる機会を作る。 近隣の園や地域の人との触れあう機会を持つ。 その日行われた支援の振り返りと見直しの共有。 児童発達支援ガイドラインの把握 活動プログラムの個別化及び多様なプログラムのストック 防犯マニュアルの徹底がなされていない。また、訓練もできていない。 小さなこととはいえ、ヒヤリハットが書かれていないことが多い。職員内での共有がされていない。

事業所の改善への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> 今年は、コロナの関係磨あり保護者同士や地域との触れあう機会を持ちことが難しかったが、中でも人数制限やリモートなどを使いできることを探していく。 支援の振り返りは、日誌などでの共有はできていたが、定期的に職員間で支援について集まれる機会を作り意見交換の場を作る。 プログラムのストックは、計画的に準備をして行くようスタッフに促していく。また、個々に本や研修会に積極的に参加しプログラムのアイデアにつなげていく。 防犯マニュアルの作成及び、職員に周知していく。 日常から、ヒヤリハットを書く癖をつけ危険予測につなげていく。

自己評価を行っての事業所としての感想など
<p>今年度は、今年目標にしていた保護者個々との連携といった部分では目標に近づけたと思う。しかし保護者のニーズとしてあげられていた保護者同士の交流の場が設けられなかった。このような時期ではあるが、他のイレギュラーな取り組みを考え取り入れられなかったことは反省する点。</p> <p>毎日の療育の中で、ヒヤリハットがあったとしてもスタッフ同士の会話の中だけで終わってしまっていた。職員内で危険予測し防止にもつながっていくので、普段から書面に残し施設全体で共有していく。</p> <p>今年は新型コロナウイルス感染症が流行し、衛生管理について深く考え実行してきた年だった。手洗いや消毒などの基本的なこと以外にも、利用児の席の配置や送迎者内での対策、密にならない方法を模索していくなど今後の流行に備えた対策準備ができたように思える。</p>

来年度の施設目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流の場を作る ・防犯対策の徹底 ・形にとらわれず、個をを見る支援
----------	--